作成日　2016 年　6 月　1 日
改訂日　2026 年　8 月　1 日

安全データシート（混合物用）

1．製品および会社情報

製品名	カチオンタイトT　主材
会社名	ヤブ原産業株式会社
住所	〒334-0054　埼玉県川口市安行北谷546
担当部署	セールス＆マーケティング部
作成者	技術開発部
電話番号	048-297-4111
FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111
推奨用途及び使用上の制限	セメント系下地調整塗材
整理番号	100811

2．危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	皮膚腐食性／刺激性	区分１
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分１
	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	区分１A
	特定標的臓器／全身毒性（単回ばく露）	区分3（気道刺激性）
	特定標的臓器／全身毒性（反復ばく露）	区分１（腎臓、免疫系、呼吸器）

※上記以外は区分に該当しないか分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語　危険

危険有害性情報
- 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
- 重篤な眼の損傷
- 遺伝性疾患のおそれの疑い
- 発がんのおそれ
- 呼吸器への刺激のおそれ
- 長期または反復ばく露による臓器の障害（腎臓、免疫系、呼吸器）

注意書

【安全対策】
- 保護手袋、保護メガネ、保護面、防塵マスク、保護衣を着用すること。
- 粉塵／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
- 取扱い後はよく手を洗うこと。
- 環境への放出を避けること。

【応急処置】
- 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- 皮膚等に付着した場合、ただちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
- 皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
- 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに、医師に連絡すること。
ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。
気分が悪い時は医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3．組成、成分情報

単一製品、混合物の区分　：　混合物

化学名または一般名　：　ポルトランドセメント、硅砂、セルロース誘導体

物質の特定　　成分及び含有量

物質名	CAS No.	含有量（%）	備考
ポルトランドセメント	65997-15-1	30~50	アスベスト含まず 結晶性シリカ＜１%
結晶質シリカ(石英)	14808-60-7	45~65	官報公示整理番号：1-548、 労安法第57条の2

※　代表値であり、規格値ではありません。

4．応急措置

吸入した場合　：　粉体を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、直ちに医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合　：　付着物を布にて素早く拭き取る。
直ちに、全ての汚染され衣類を取り除くこと。
大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合　：　直ちに大量の清浄な流水で１５分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。ただちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合　：　誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5．火災時の措置

内容物は不燃である。

適切な消火剤　：　全ての消火剤

使ってはならない消火剤　：　情報なし

特有の消火方法　：　周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

消火を行う者の保護　：　適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	：	作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど）を着用する。 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
環境に対する注意事項	：	河川への排出などにより、環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込めおよび浄化の方法・機材	：	漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。 スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛り土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こすおそれもあり注意する。

7．取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策	：	換気の良い場所で取り扱う。 容器はその都度密閉する。 皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、眼に入らないよう保護具を着用する。 取扱い後は手・顔などをよく洗い、休憩所などに手袋などの汚染保護具を持ち込まない。 屋内で取扱う場合は、換気に注意する。
注意事項	：	水と接触するとアルカリ性を呈するので、酸性の製品との接触を避ける。

保管

技術的対策及び保管条件	：	日光の直射を避ける。 通風の良いところに保管する。 漏れ、あふれ、飛散しないよう必要な措置を講ずること。 盗難防止のために施錠保管する。子供の手が届かないところに保管すること。
注意事項	：	転倒、転落しないように注意する。水、湿気を避ける。

8．暴露防止及び保護措置

管理濃度（労働安全衛生法・作業環境評価基準）	E=3.0／（1.19Q＋1） E：管理濃度(mg／㎥)、Q:粉じんの遊離けい酸含有率(%)	
許容濃度(日本産業衛生学会2008年)第2種粉塵	吸入性粉塵	1mg／㎥
	総粉塵	4mg／㎥
	吸入性結晶質シリカ	0.03mg／㎥

設備対策	：	多量に取扱う場合は集塵機を設置する。

保護具

呼吸器用の保護具	：	作業を行う場合には、適切な保護マスク（防塵マスク等）を着用すること。
手の保護具	：	有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用すること。
眼の保護具	：	取り扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚および身体の保護具	：	取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9．物理的および化学的性質

状態	：	粉体
色	：	灰白色

臭い	：	無臭
PH	：	水と接触すると12～13
沸点または初留点及び沸点範囲	：	データなし
可燃性	：	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	：	データなし
引火点	：	データなし
自然発火点	：	データなし
分解温度	：	データなし
動粘性率	：	データなし
溶解度	：	データなし
n-オクタノール/水分配係数	：	データなし
蒸気圧	：	データなし
密度及び/又は相対密度	：	データなし
相対ガス密度	：	データなし
粒子特性	：	データなし

10. 安定性および反応性

化学的安定性	：	通常の取扱いにおいては安定。
反応性	：	水と反応し、硬化する。
避けるべき条件	：	酸性物質との接触を避ける。
混触危険物質	：	情報なし
危険有害な分解生成物	：	情報なし
その他の有害性情報	：	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	：	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	：	ポルトランドセメント（区分１）
眼に対する重篤な損傷・刺激性	：	ポルトランドセメント（区分１）
呼吸器感作性または皮膚感作性	：	分類できない
生殖細胞変異原性	：	結晶質シリカ（区分２）
発がん性	：	結晶質シリカ（区分1A）
生殖毒性	：	分類できない
特定標的臓器・全身毒性－単回ばく露	：	ポルトランドセメント（区分３　気道刺激性）
特定標的臓器・全身毒性－反復ばく露	：	ポルトランドセメント（区分１　呼吸器系） 結晶質シリカ（区分1　腎臓、免疫系、呼吸器）
誤えん有害性	：	分類できない

※　上記以外は区分に該当しないか分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性	：	情報なし
残留性・分解性	：	情報なし

生態蓄積性　：　情報なし
土壌中の移動性　：　情報なし
水生環境有害性(急性)　：　分類できない
(慢性)　：　分類できない
オゾン層への有害性　：　分類できない

・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱に注意する。
・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物　：　廃液、容器などの廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)をして処理をする。
容器、機器などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

汚染容器および包装　：　空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

共通　取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

国内規定

陸上輸送　：　消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

海上輸送　：　船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送　：　航空法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法　：　ポルトランドセメント、結晶質シリカ（表示・通知対象物質　第57条の2）
粉じん障害防止規則

じん肺法　：　第2条施行規則

消防法　：　非該当

化学物質管理促進法　：　非該当

16. その他の情報

参考文献

・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）
・SDS用物質データベース（日本塗料工業会）
・国際化学物質安全カード（ICSC）
・原料SDS

注意

本データシートは、作成または改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報など）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には、追加・修正を行ない改訂いたします。
また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

作成日　2016 年　6 月　1 日
改訂日　2026 年　9 月　1 日

安全データシート（混合物用)

１．製品および会社情報

製品名	カチオンタイトT　硬化液
会社名	ヤブ原産業株式会社
住所	〒334-0054　埼玉県川口市安行北谷546
担当部署	セールス＆マーケティング部
作成者	技術開発部
電話番号	048-297-4111
FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111
推奨用途及び使用上の制限	セメント系下地調整塗材
整理番号	100812

２．危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	区分に該当しないか分類できない
環境に対する有害性	区分に該当しないか分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし

注意書

【安全対策】

保護手袋、保護メガネ、保護面、防塵マスク、保護衣を着用すること。
粉塵／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

【応急処置】

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚などに付着した場合、ただちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ただちに医師に連絡すること。
ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師の診断／手当てを受けること。
気分が悪い時は医師の診断、手当てを受けること。
漏出物を回収すること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

３．組成、成分情報

単一製品、混合物の区分　：　混合物

化学名または一般名　：　アクリル系共重合体水性エマルション

４．応急措置

吸入した場合　：　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には医師に連絡すること

皮膚に付着した場合　：　付着物を布にて素早く拭き取る。
直ちに、全ての汚染され衣類を取り除くこと。
大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること

眼に入った場合　：　直ちに大量の清浄な流水で１５分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。ただちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合　：　誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

５．火災時の措置

この物自体は可燃性ではないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。

適切な消火剤　：　全ての消火剤

使ってはならない消火剤　：　情報なし

特有の消火方法　：　周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

消火を行う者の保護　：　適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置　：　作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど）を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項　：　河川への排出などにより、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材　：　漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。
スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛り土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こすおそれもあり注意する。

７．取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策　：　換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密栓する。
皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、眼に入らないよう保護具を着用する。

保管

技術的対策及び保管条件　：　直射日光を避ける。通風の良いところに保管する。盗難防止のため施錠保管する。

注意事項　：　転倒、転落しないように注意する。水、湿気を避ける。
取り扱い後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

8．暴露防止及び保護措置

管理濃度（労働安全衛生法・作業環境評価基準）　設定されていない
許容濃度（日本産業衛生学会2008年）　設定されていない

設備対策	：	必要に応じて局所排気装置などの廃棄のための装置を設置する。 作業場には洗眼および身体洗浄のための設備を設置すること。
保護具		
呼吸器用の保護具	：	作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具	：	有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用すること。
眼の保護具	：	取り扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚および身体の保護具	：	取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9．物理的および化学的性質

状態	：	液体
色	：	乳白色
臭い	：	ほとんどなし
PH	：	4.5～5.5
融点・凝固点	：	約0℃
沸点・初留点	：	約100℃
比重	：	約1
可燃性	：	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	：	データなし
引火点	：	データなし
自然発火点	：	データなし
分解温度	：	データなし
動粘性率	：	データなし
溶解度	：	易溶
n-オクタノール/水分配係数	：	データなし
蒸気圧	：	データなし
相対ガス密度	：	データなし
粒子特性	：	データなし

10．安定性および反応性

化学的安定性	：	通常の取扱いにおいては安定であるが電解質や凝集剤とは凝集を起こす。
反応性	：	自己反応性なし
避けるべき条件	：	水禁忌物質との接触を避ける。
混触危険物質	：	情報なし
危険有害な分解生成物	：	情報なし
その他の有害性情報	：	情報なし

11．有害性情報

急性毒性	経口	：	区分に該当しない
	経皮	：	分類できない
	吸入（気体）	：	区分に該当しない（分類対象外）
	（蒸気）	：	分類できない

（粉じん及びミスト）	：	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	：	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷・刺激性	：	分類できない
呼吸器感作性	：	分類できない
皮膚感作性	：	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	：	区分に該当しない
発がん性	：	区分に該当しない
生殖毒性	：	区分に該当しない
特定標的臓器・全身毒性－単回ばく露	：	分類できない
特定標的臓器・全身毒性－反復ばく露	：	分類できない
誤えん有害性	：	分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性	：	情報なし
残留性・分解性	：	情報なし
生態蓄積性	：	情報なし
土壌中の移動性	：	情報なし
水生環境有害性(急性)	：	分類できない
(慢性)	：	分類できない
オゾン層への有害性	：	分類できない

・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱に注意する。
・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	：	廃液、容器などの廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)をして処理をする。 容器、機器などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
汚染容器および包装	：	空容器は内容物を完全に除去してから処分する。 許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

共通		取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。 容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
国内規定		
陸上輸送	：	消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上輸送	：	船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空輸送	：	航空法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法	：	該当しない
化学物質管理促進法	：	該当しない
消防法	：	該当しない
毒物劇物取締法	：	該当しない

16. その他の情報

参考文献

・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）
・SDS用物質データベース（日本塗料工業会）
・国際化学物質安全カード（ICSC）
・原料SDS

注意

本データシートは、作成または改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報など）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には、追加・修正を行ない改訂いたします。
また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。
本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。